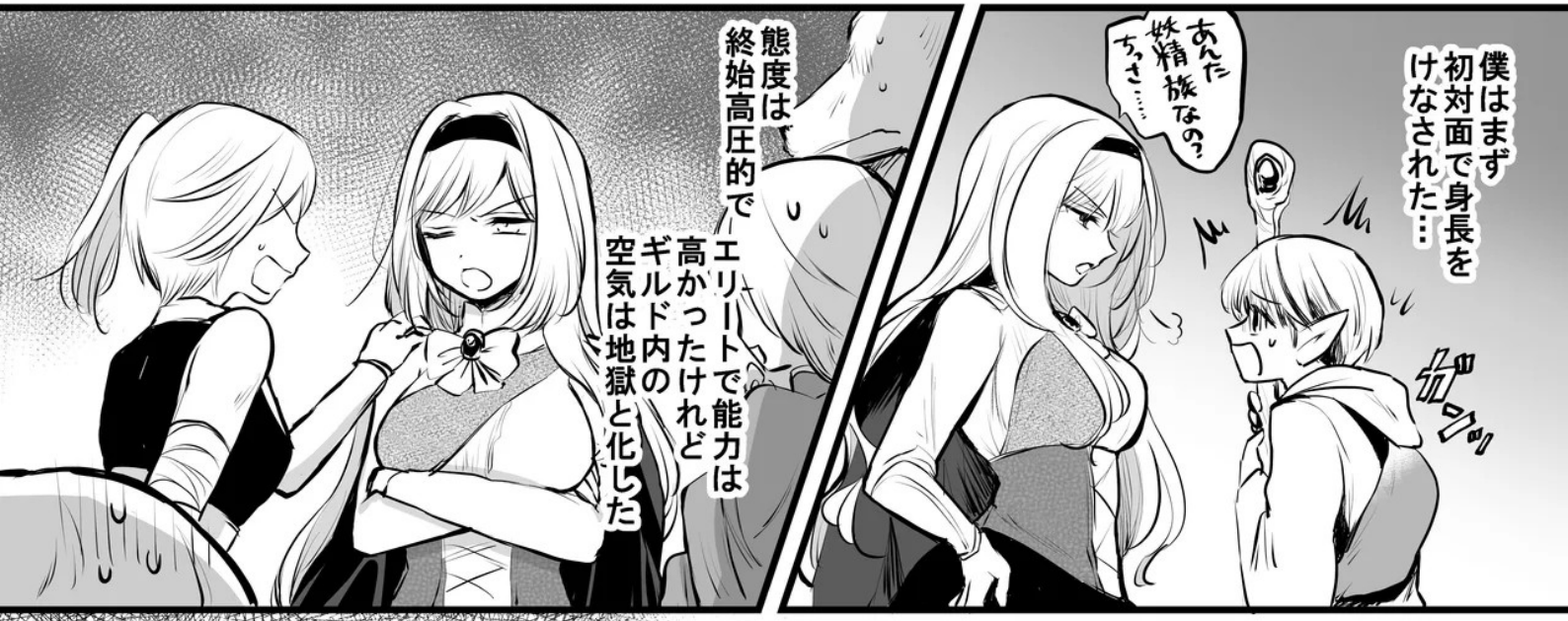

嫌われ女を
助けたら…？


かつてのギルドメンバー、
魔導士リィズ・クラウゼの印象は
最悪だった。


僕はまず
初対面で身長を
けなされた…
あんた妖精族なの？
ちっさ……
ガーン
態度は
終始高圧的で
エリートで能力は
高かったけれど
ギルド内の
空気は地獄と化した


僕は耐えきれず
胃痛を起こし
10円ハゲを作り
うわあああああ
依頼を達成して
解散したときは
もう二度と会うこともない、
せいせいする…と
思っていた


1発
3000G
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
それがまさか……
んおっ
おっ
おっ
あっ
はっ
あぁ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
こんな形で再会するなんて……


な…なんで？？？？？
この街には依頼の報酬金を受け取りに来ただけなのに…
なんか賑やかだな～と思って近寄ってみただけなのに…
ぎゃあ
ぎゃあ
ぎゃあ
知り合いのそういうシーンに遭遇したときの精神的ダメージは計り知れなかった
オーン…
SAN値
いや冷静に考えて…あの人は優秀な魔導士だったんだしこんなトコいる訳ない
きっと他人の空似だよ！帰ろう…
さあ～～～いらっしゃいいらっしゃい!!


こちらの壁尻女!!
なんと元エリートの
女魔導士!
高慢ちきな上玉を
こんな値段で
ヤレるのはここだけ
だよーーーッ!!
本人だ
これ……


いくら上玉でも
死にたくねえぞ
ご安心
ください!!


っていってもよ~
その女ワケ有り
なんだろ?
聞いたぜ?
最初は高級娼館に
いたのが客半殺しにして
壁尻便器に
格下げしたって


今は魔力を抑制する
極めて強力な薬を
催淫剤とともに
投与しております!!
今のあの女は
されるがままの
無害なメスブタです!!

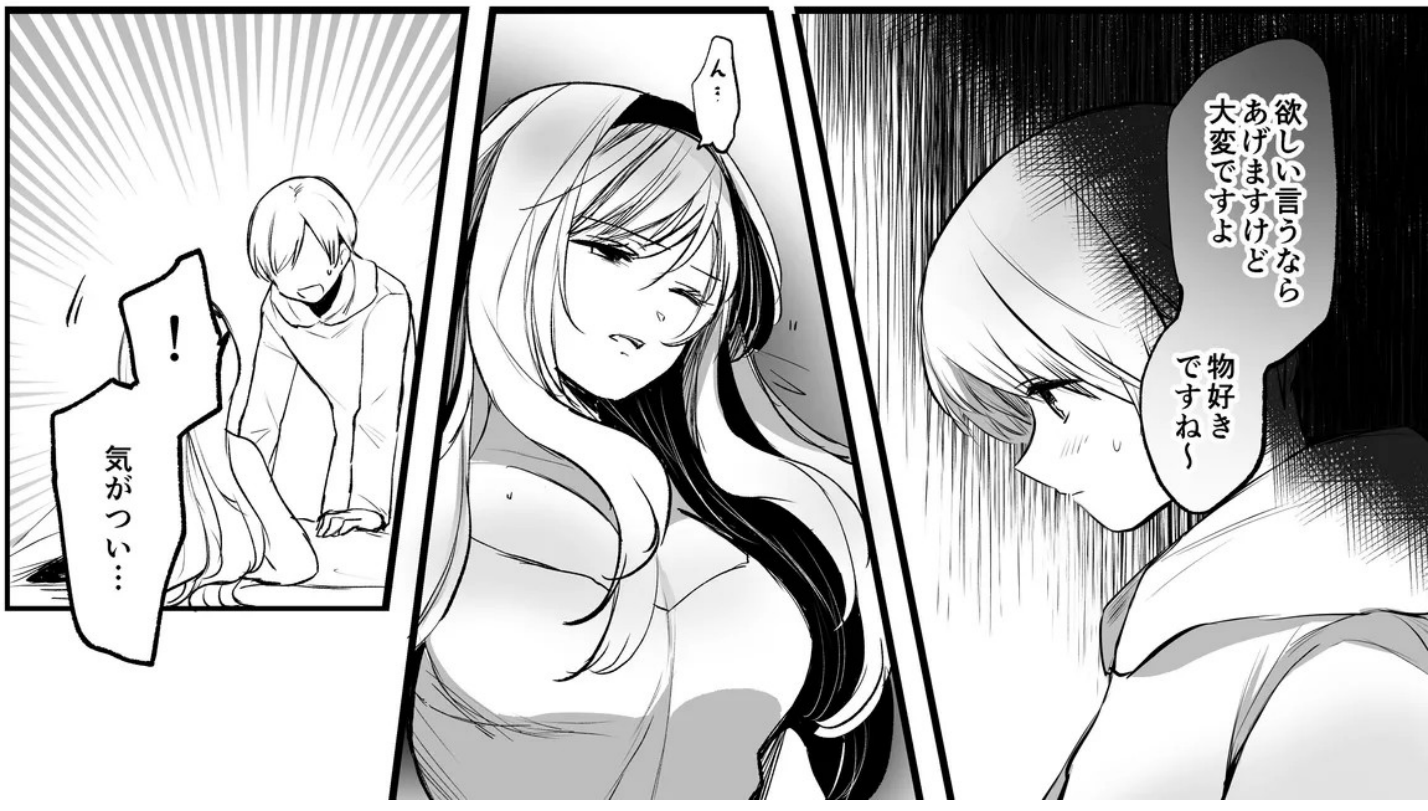

なーんだ
それなら一発
抜こうかな
ありがとう
ございます～♪
しかし
バカな女
だなー
高級娼館で
お偉いさんに媚びてりゃ
もっと楽な人生
送れてただろうに
ヤク漬けで
公衆便所にされちゃ
娼館にも戻れねえ
身請けする物好きも
現れねえ


あっおっ
死ぬまで一生
ここで犯され尽くす
運命なんだからな
ビロロロロ
ビロロロロ
ビロロロロ
んじゃ次
俺な～
ガタ
ガタ
ガタ
あ～
あ～
あ～
まいどありっ！
……
……
…今回の
報酬が…
１０万Ｇ
…バンクに
預けてる
お金が…
……
いやいや何
考えてるんだ
僕は…


なあにあんたそんな事も出来ないの
バカじゃない？
変なやつ……
バサッ……
み……
身請けしてしまった……
えぇ～～っ
この女買うんスかぁ!?
マジっスかぁ？
さよなら僕の財産の4/5……
ふ～……

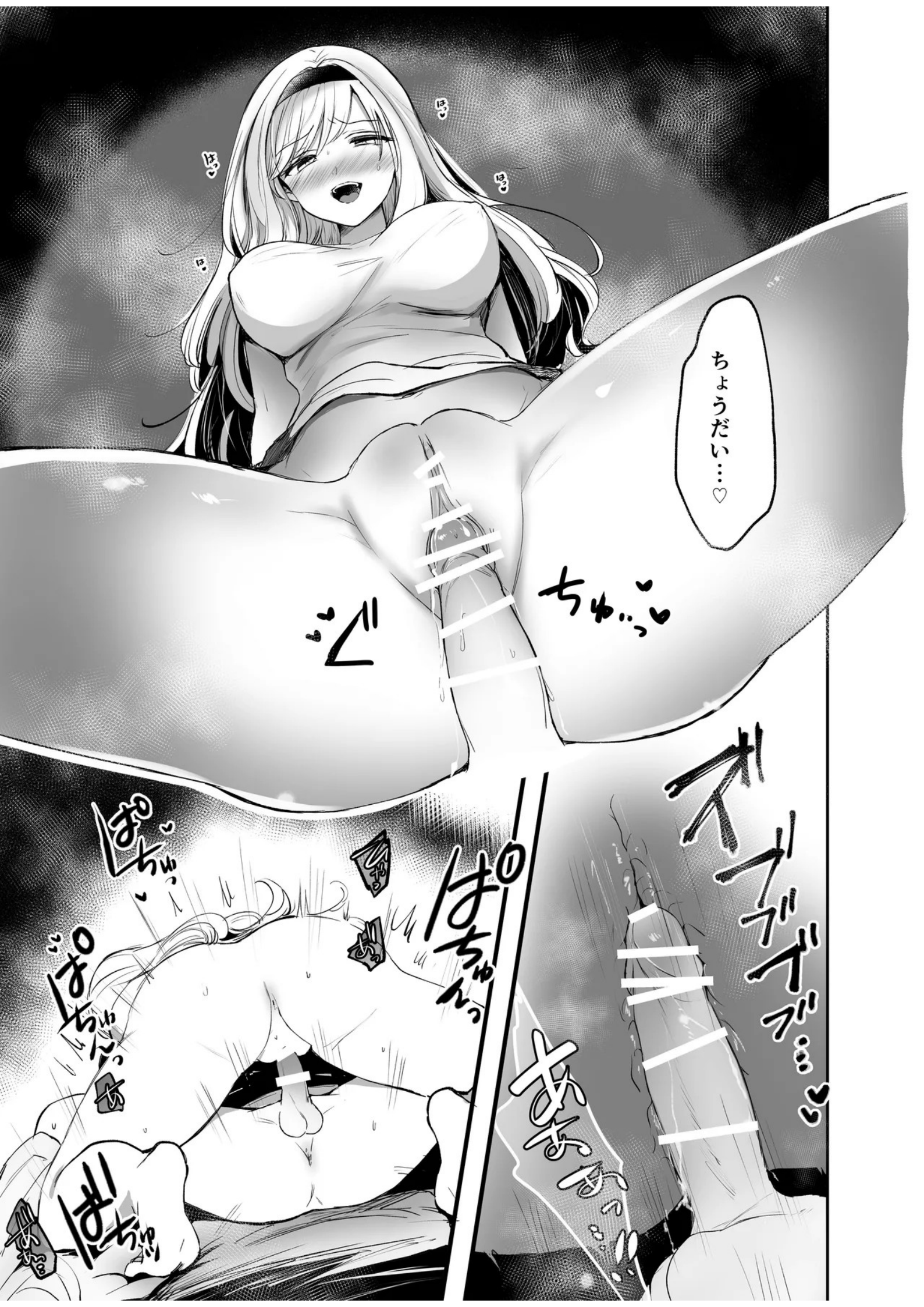

死ぬまで一生……
だってあんなこと聞かされたら…
…身請けする時に元締めが教えてくれた……


この女にはね～借金があるんですわ
ハメられたとか何とか本人は騒いでましたがね
借金は借金そのカタに身体売らせとったんです
ま使えませんでしたけど


欲しい言うならあげますけど大変ですよ
物好きですね～
ん…
！
気がつい…


!!?
んむっ
ムズムズする…
はぁっ
はーっ♡
はーっ♡
はーっ♡
ねえ…♡
ムズムズするのぉ…♡
もじ♡


強い魔力抑制剤と催淫剤を…
ちゅっ♥
ちゅるるっ♥
ちゅちゅっ♥
ちゅくっ♥
ぐっ
なっ…
はっ♥
ほっ♥
薬の投与をやめてもらってから48時間は経つはずなのに…！
はっ♥
はーっ♥
はーっ♥
はーっ♥
これはっ…
にゅる…♥


ちょうだい…♡
ぱちゅっ
ぱちゅんっ
ぱちゅんっ
ぱちゅっ
ヴブブブ…
あぁ


きもちいいっ♡
ゆさっ
ゆさっ
ゆさっ
きもちいいっ♡
イクッ
イクッ
きゅうう
きゅんっ
きゅんっ
すっ♡すご…っ♡
二滴残さず
搾り取られるような
腰の動きっ
一回達しただけじゃ
満足できないのかっ…
内側から
ぬるぬるの愛液がっ
次から次に溢れてきて
包み込んで、くるっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐちゅっ

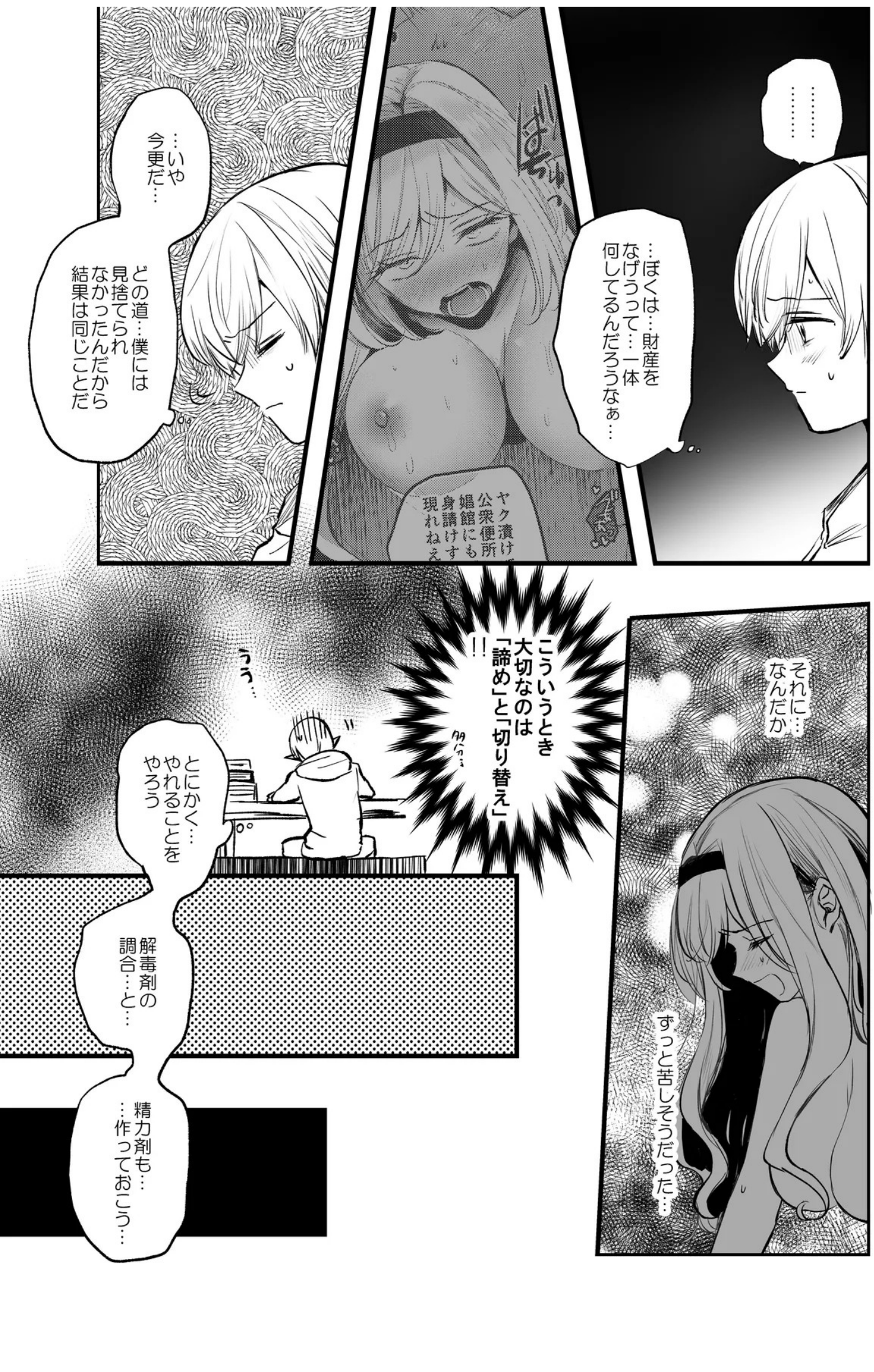

そんなにされたらっ
僕も出ちゃうっ…!!
ふぅぅぅぅっ!!
ばちゅっ
ばちゅっ
ばちゅっ
ぴゅっ
ぴゅっ
こすっ♥
こすっ♥
こすっ♥
だして♡
あっ
あっ
こすっ♥
こすっ♥
こすっ♥
こすっ♥
だしてッ♡
はーっ
はーっ
はーっ
はーっ
ぐた…
あっ
ビクッ!!
ビクッ!!



その日のセックスは朝まで続いた。






……
…ぼくは…財産をなげうって…一体何してるんだろうなぁ…
ヤク漬け公衆便所娼館にも身請けす現れねえ
…いや今更だ…
どの道…僕には見捨てられなかったんだから結果は同じことだ
それに…なんだか
ずっと苦しそうだった…
こういうとき大切なのは「諦め」と「切り替え」!!
うう…
とにかく…やれることをやろう
解毒剤の調合…と…
精力剤も…作っておこう…


それから僕と
彼女の爛れた日々が
始まった
カタ
カタ
リィズさん…
そっ…
はっ♥
はーっ♥
はーっ♥
たくさんの
緩和薬を飲ませても
腕利きの魔導士の
治癒魔法を受けても
彼女の中の毒は
しぶとく居座って
理性を溶かし続けていた


ぁんっ♡
んぁ♡
朝も昼も夜も…
ぁぁん♡


求められて
求められて
求められて


求められて…

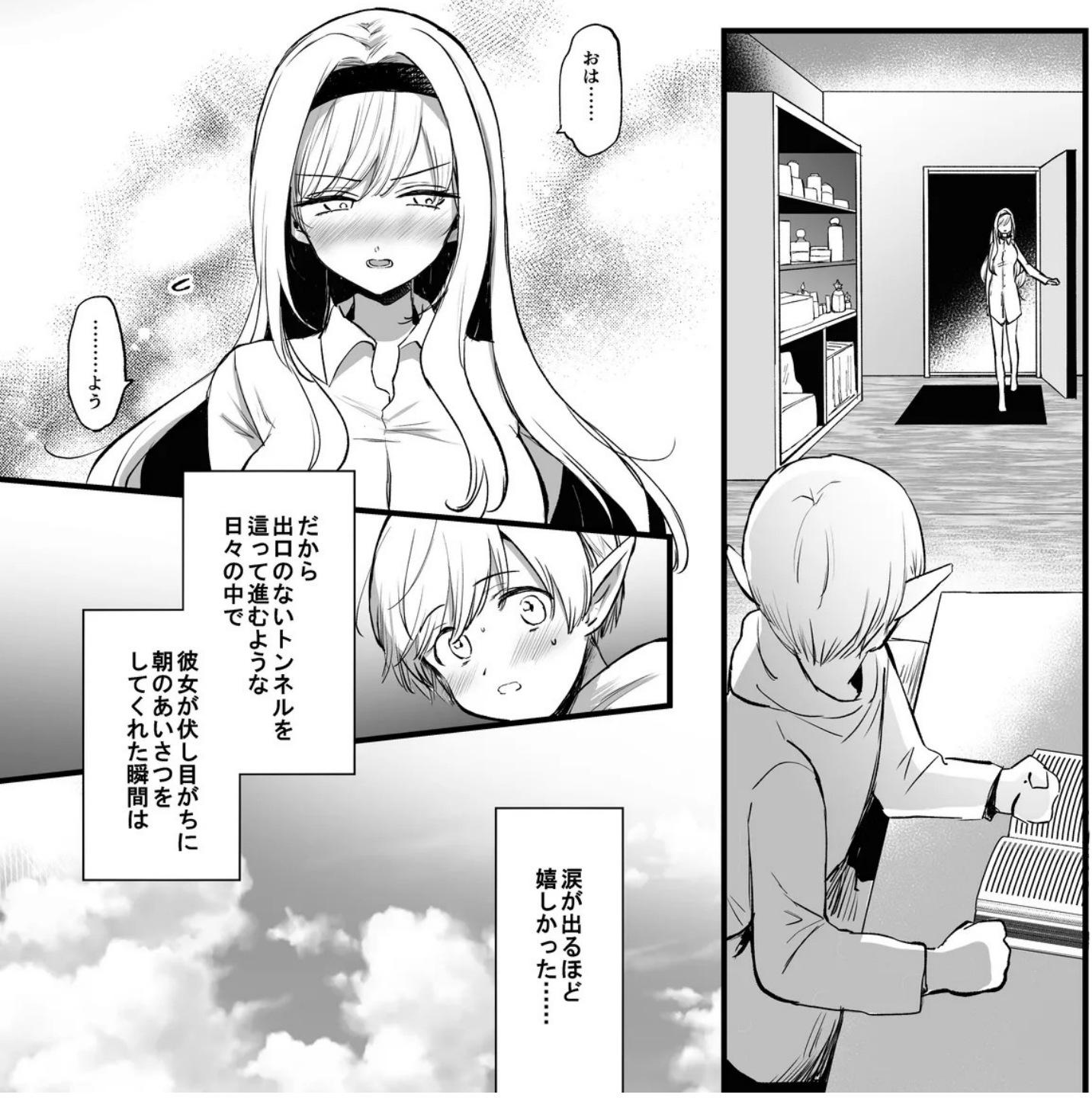

隙を見て彼女に
薬を与え続けた
ゲホッ
ゲホッ
調合した緩和薬が
合わなくて
吐いてしまう
こともあった
それでも
少しづつ与えて
与えて
与えて……

ーーだから

カチャ

キィ…





おは……

……よう

だから
出口のないトンネルを
這って進むような
日々の中で

彼女が伏し目がちに
朝のあいさつを
してくれた瞬間は

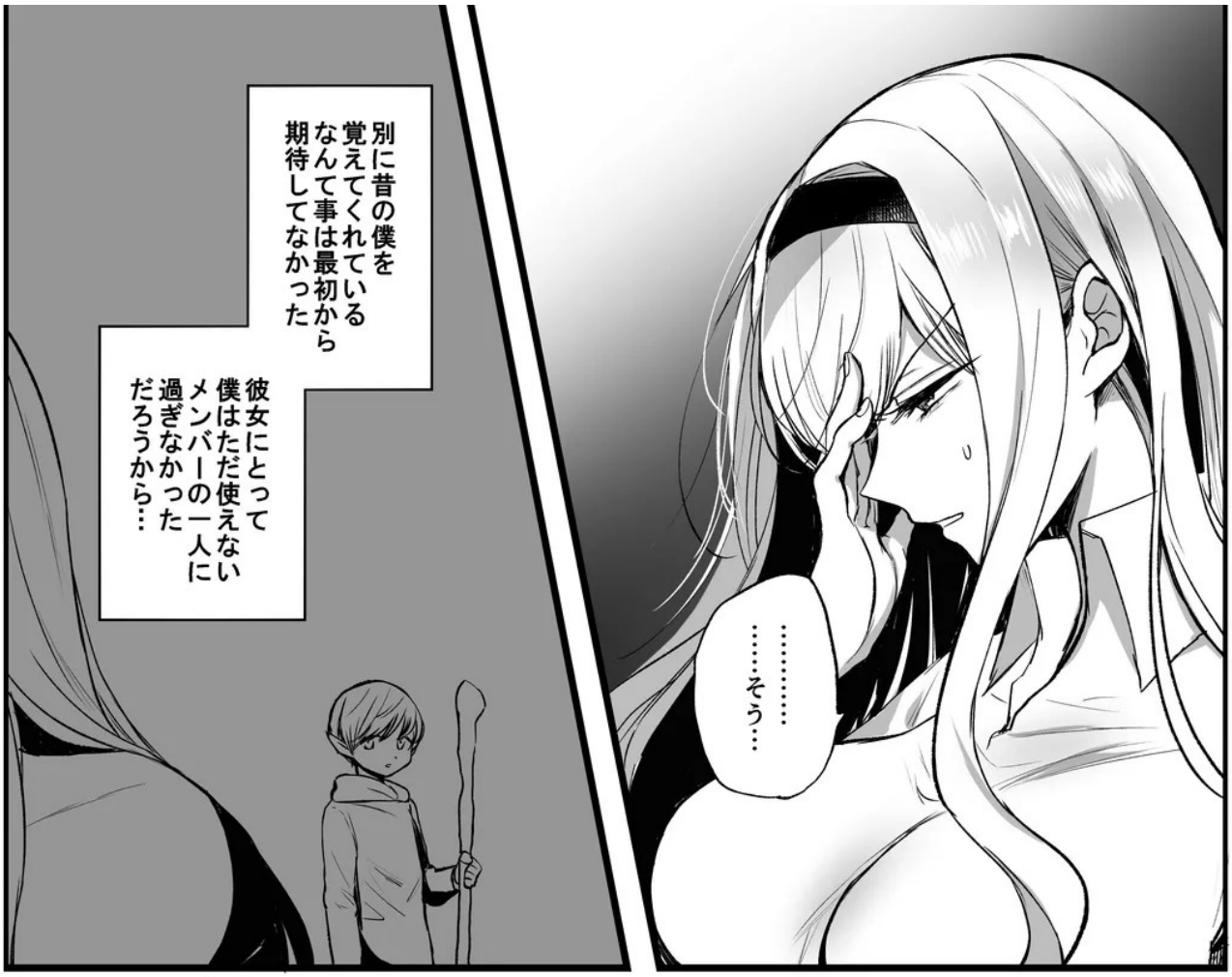
涙が出るほど
嬉しかった……

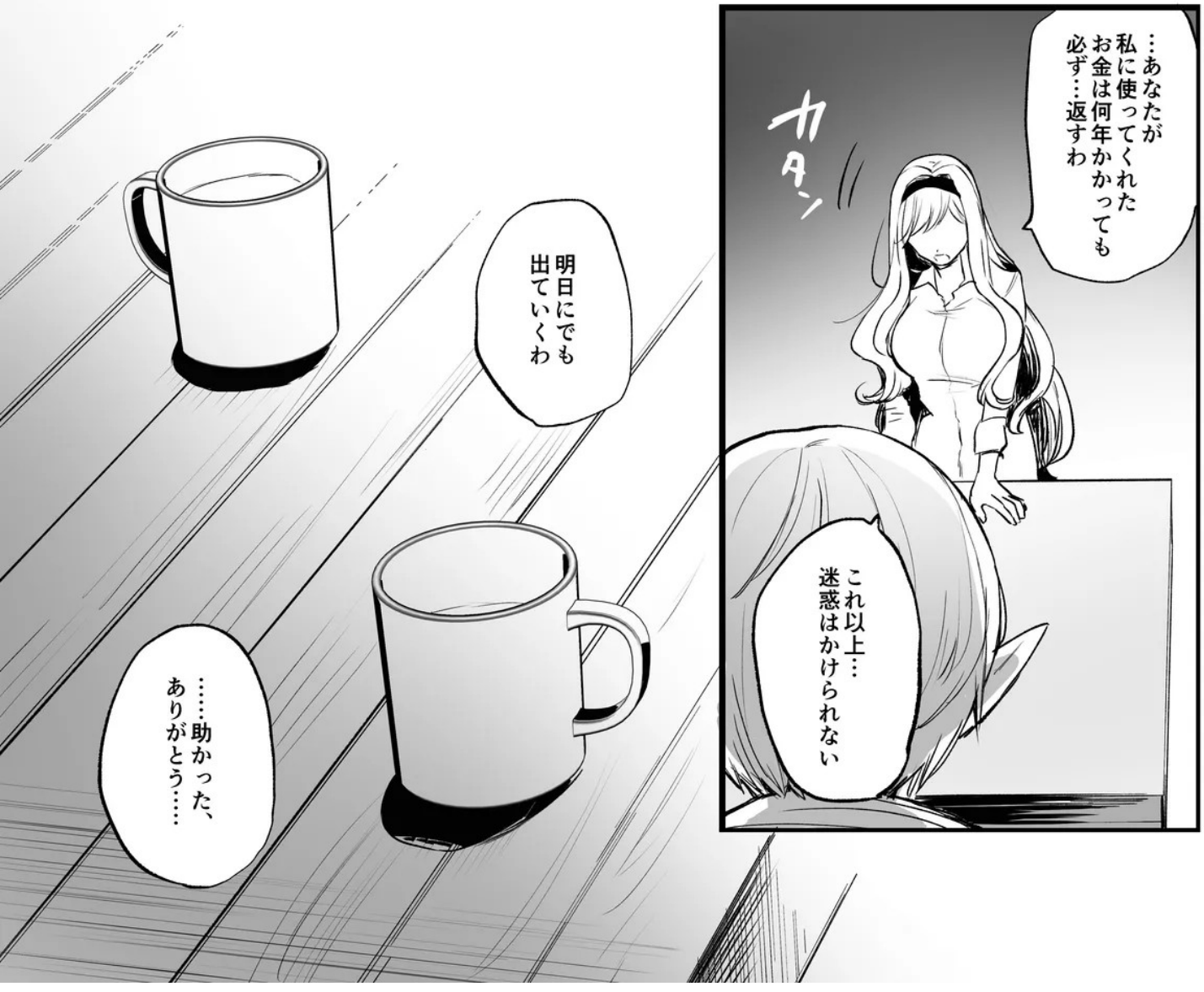

幸運だったのは
彼女が我を失っていた
時の記憶を
覚えていてくれたことだ
面倒事に
巻き込んで…
悪かったわ
ずっと夢を…
見ていたような
感覚なんだけど
あなたには
随分…その…
世話になった
みたいね
…あの


私たち…
どこかで
会ったこと…
……あったかしら


……はい


昔
同じパーティで
任務にあたった
ことが…


別に昔の僕を
覚えてくれている
なんて事は最初から
期待してなかった
彼女にとって
僕はただ使えない
メンバーの一人に
過ぎなかった
だろうから…
……
……そう…


…あなたが
私に使ってくれた
お金は何年かかっても
必ず…返すわ
カタン
これ以上…
迷惑はかけられない
明日にでも
出ていくわ
……助かった、
ありがとう……





終わりって
急に来るんだな
…

あんなに
大変だったのに
なんか……
胸に穴が空いた
気分……





覚えてるとはいえ…
今までのリィズさんは
正気じゃなかったんだから

……うん……

お金も返してくれるらしいし結果良かったじゃないか！

寝よう！

今日は久しぶりにゆっくり眠れるかも！

ずっく！

コン
コン

ぎょっ

リィズさん!?

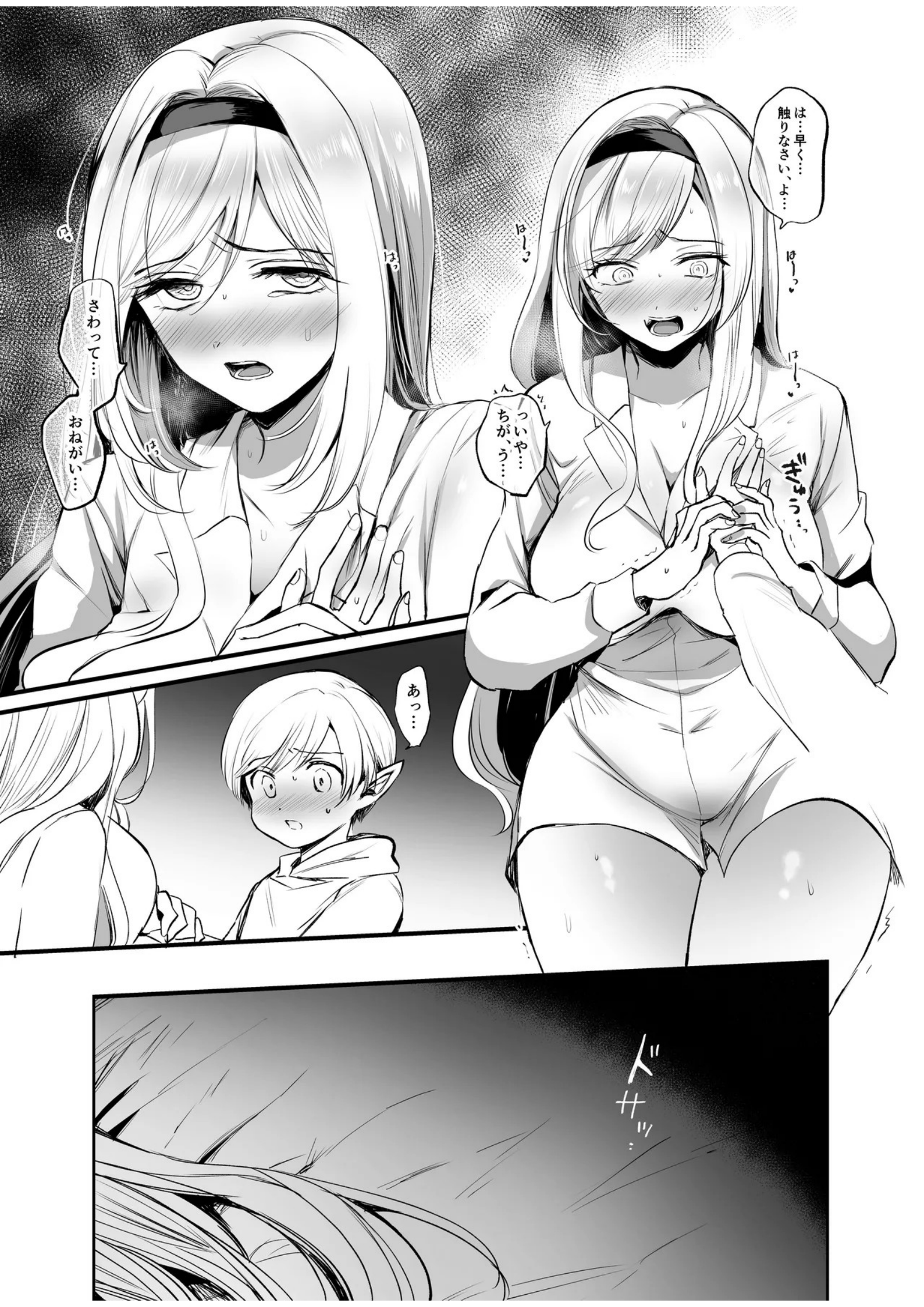
ふー…

ふー…

ふ～～。


昼間…は大丈夫…っだった…のに
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ
はっ♡
夜になって急にっ…
体のコントロール効かな……熱くて…っ
ぶるっ♡
一人でシて…も…っ
治まら、な……
もじっ♡


ま…まだ毒が…
だ、大丈夫……
…っ！
さ、触って…いいのか？
今の…リィズさんは……
！
ぱしっ


は…早く…
触りなさい、よ…
はーっ♥
はーっ♥
はーっ♥
ぎゅう…っ
っいや…
ちが、う…
はっ
さわって…
おねがい…
はっ
あっ…
ズサッ…


ふ〜っ
ふっ
ふ〜っ
いつも上に乗られるだけだったから…
リィズさんに求められて…この体勢になるのは初めてだ……
ビキン
ビキン
ぬるぬる、だ…
ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ
はぁっ
じ…焦らさないで…っ
はっ
はっ
は…早く…
はっ
はっ
はやくぅっ♡
あっ…！


おおおぉ～っ♥
ぴゅっ♥
ぴゅんっ♥


あっ
ぴゅんっ♥
ぴゅっぴゅっ♥
ぴゅうっ♥
あぁぁ
あっ
ぼちゅんっ
ぼちゅんっ
ぼちゅっ
ぼちゅっ
ぼちゅ
あっ
リィズさんっ!!
だ駄目っ！
そんな急に
動いたらっ!!


リィズさっ…
は
離してっ
イくっ…!!!
ドクッ♥
ドクドクドクドク♥
はーっ♥
はーっ♥
はっ…
はっ…
あ
あっ…?
私わ…今…


わ…悪かった…わ
ご…ごめんなさ……
ふ…
あっ…？
も…もぅ…おわ、り…？
うぐ…っ
ぞわ♥
ぶるっ
ぶ…
ガラッ
ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ
ぷは、…
大丈夫です…っ精力剤飲みましたからまだ…できます
きっと…治りますから…


ぱちゅっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
はっ
はっ
はっ
…んで
みちっ
…っ？
どうしました？
苦しいですか…
…ちが…
なんで
…あなた
そんなに
やさしくして
…くれるの


昔の私
知ってるなら…
なおさら
他人なんか皆
無能だと思って
…見下して…
酷いことも沢山言った
それで恨まれて…
ハメられて
…あんなとこに
売り飛ばされて…
ぜ～～んぶ
自業自得よ
さようなら
「有能な魔道士」さん♪
ぐすっ
わたし
あなたの名前だって
……覚えてない!!
なのに…
なんで……
……


……ぼくは…
あなたが思ってるほど…
……やさしくない…
はっ
はっ
同じギルドだった時も…
リィズさんのこと
怖くて好きじゃなかった
身体を売っていた
あなたを最初は
見捨てようと
思ってた…
身請けしたのは
いきさつを知った
同情もあったけど
…あの場で何もしない
自分になりたく
なかっただけ…なんだ

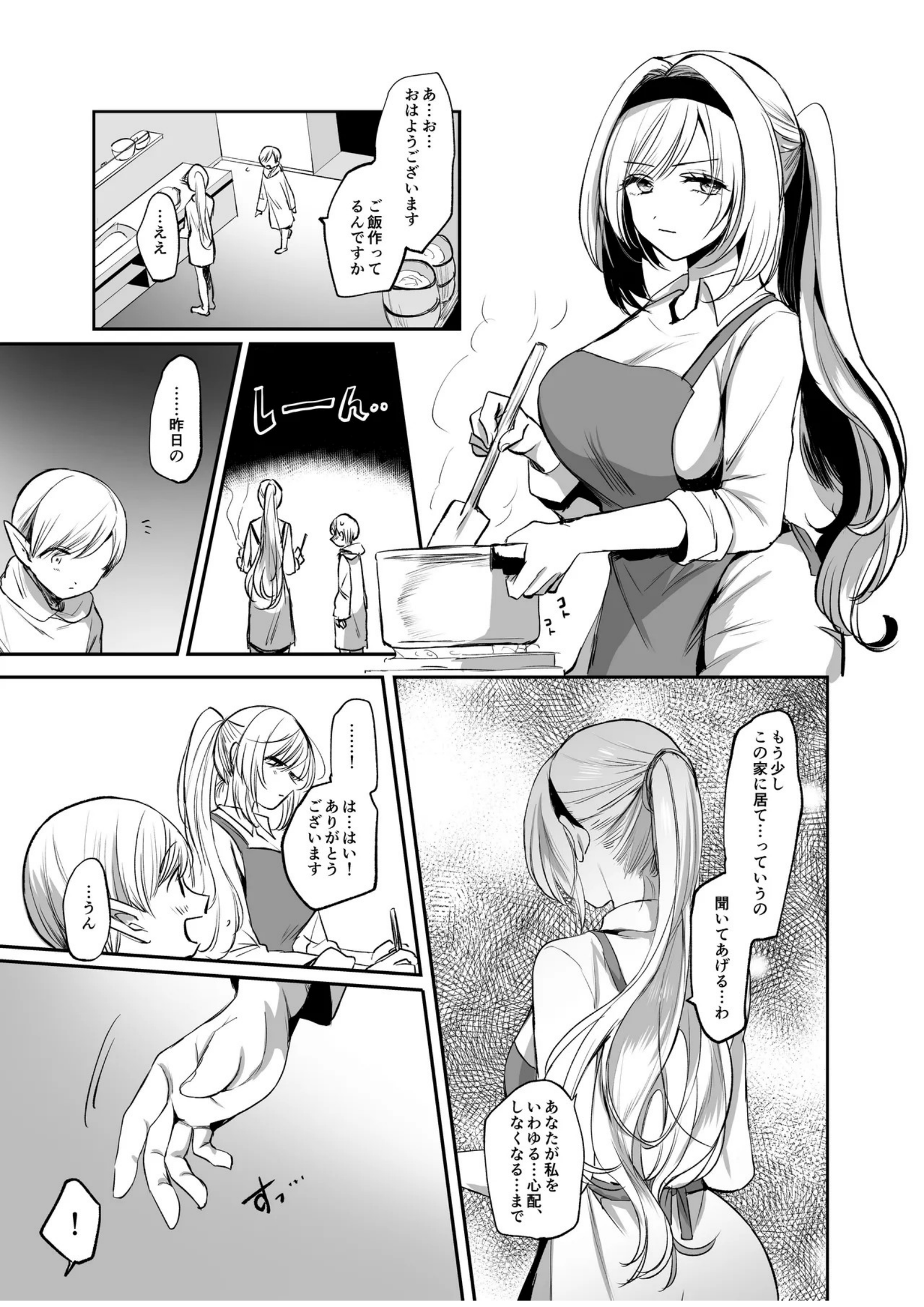

でも…
何でか
わからないけど…
今は……
リィズさんのこと
放っておけない…！


…もし
お願い…
聞いてくれるなら
心配
しちゃうから
もう少し…
この家に居て
……ください
……
変なやつ……

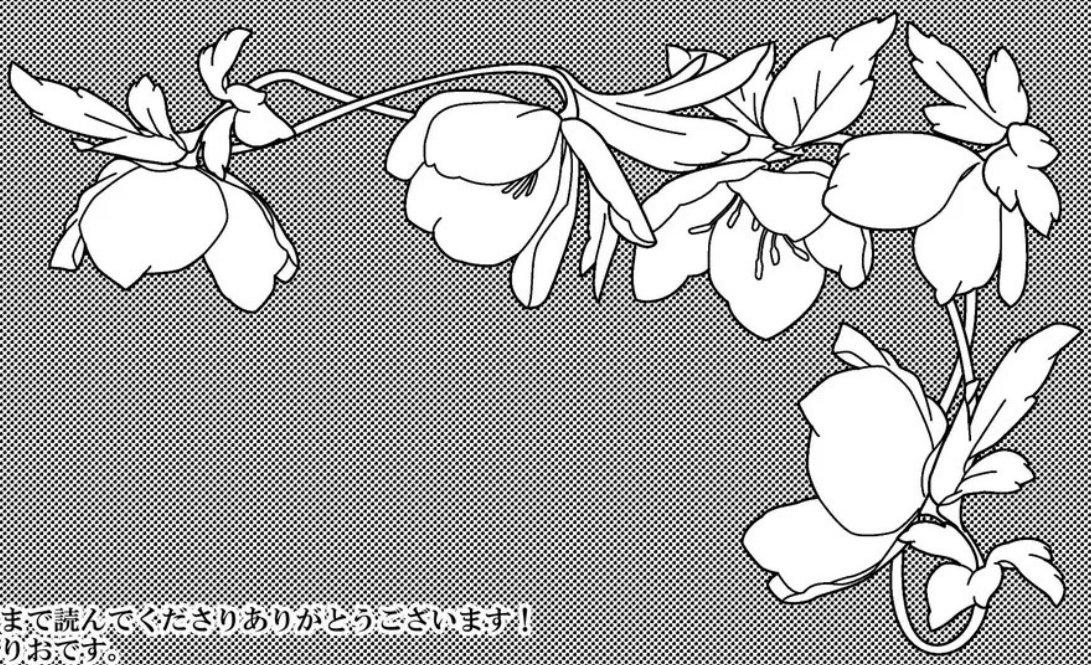

わっ
後悔してもっ
ぬち♡
知らない…
っから…!!!
おっ
あぁっ


せめてっ
ぱちゅっ
ぱちゅんっ
ぱちゅっ
ぱちゅんっ
あっ
リィズさっ
はぐっ
ちっ
ふ
は〜〜っ
は〜〜っ
せめて
いっぱいっ…
気持ちよくなって
…っ♡
あっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
もっ
ぱぱ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
あっ
あ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ


あっ…！
おっ、あっ、でるっ
ビュルルルル～～～♡
ドクッ♡
ドクッ♡
おひとよし……
はぁ…♡


あ…お…
おはようございます
ご飯作ってるんですか
…ええ
しーん…
……昨日の
コト
コト
もう少しこの家に居て…っていうの聞いてあげる…わ
あなたが私をいわゆる…心配、しなくなる…まで
……！
は…はい！ありがとうございます
…うん
！


私は…
リィズ
リィズ…
クラウゼ
僕は…
僕の名前は
キースです
…リィズさん
妙なきっかけから
始まった
同居生活は
もう少し
続きそうです
うっ…！？
こ…これ
味見
しましたか…？
!?
？
なによ
食べれる
じゃない？



ここまで読んでくださりありがとうございます！
えみりおです。

今回はハートフルおねショタ(?)になりましたが
いかがだったでしょうか～
ショタとお姉さんがけっこう対等の立場なのでおねショタと言っていいか
分からないですが…
もともとは、謝ってももう遅い！系の話で考えてたんですが
話しを考えていくうちに、もう遅い！されて見捨てられたお姉さんを
ショタが拾う話しになっちゃいました。
もし楽しんで頂けていたら嬉しいです！



サークル：手つかずの青。
えみりお

mail: emiliopanda123@gmail.com
pixiv: 4427149
Twitter: emiliopan2

嫌われ女を助けたら…？

